

2020年3月期（第51期）決算補足説明資料

テナライド株式会社
2020年 5月28日

I N D E X

■2020年3月期の業績動向について

- ・ 店舗状況
- ・ 経営成績に関する状況
- ・ 財政状態に関する状況
- ・ キャッシュ・フローに関する状況

■2021年3月期の見通しについて

店舗状況①－店舗の状況

※関東のF Cのレストラン業態 1 店舗及び居酒屋業態 1 店舗を含みます。

【業態別】	前期末	新規出店数	閉鎖店舗数	業態変更数	増減	当期末
居酒屋業態	8 6 店舗	1 店舗	4 店舗	— 店舗	△ 3 店舗	8 3 店舗
旬鮮酒場天狗	2 0 店舗	— 店舗	1 店舗	— 店舗	△ 1 店舗	1 9 店舗
テング酒場	6 6 店舗	— 店舗	3 店舗	— 店舗	△ 3 店舗	6 3 店舗
(内 ランチ営業店)	6 8 店舗	— 店舗	4 店舗	— 店舗	△ 4 店舗	6 4 店舗)
レストラン業態	3 4 店舗	— 店舗	1 店舗	— 店舗	△ 1 店舗	3 3 店舗
和食れすとらん天狗	3 4 店舗	— 店舗	1 店舗	— 店舗	△ 1 店舗	3 3 店舗
合計	1 2 0 店舗	1 店舗	5 店舗	— 店舗	△ 4 店舗	1 1 6 店舗

※「テング酒場」に「立呑み 神田屋」2 店舗、「ミートキッチン log50」2 店舗を含みます。

※居酒屋業態のランチ営業店の増減については、当期のランチ営業の開始・終了の件数をカウントしています。

【地域別】	前期末	新規出店数	閉鎖店舗数	業態変更数	増減	当期末
合計	1 2 0 店舗	1 店舗	5 店舗	— 店舗	△ 4 店舗	1 1 6 店舗
関東	1 0 3 店舗	1 店舗	4 店舗	— 店舗	△ 3 店舗	1 0 0 店舗
関西	7 店舗	— 店舗	1 店舗	— 店舗	△ 1 店舗	6 店舗
中部	1 0 店舗	— 店舗	— 店舗	— 店舗	— 店舗	1 0 店舗

※なお、地域については当社の管理区分により分類しております。

店舗状況②－新店及びリニューアル店について

1. 当期の新規出店状況について

①ミートキッチンlog50 ハレザ池袋前店 (20.2.19OPEN)

住所：〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-31-1-B1F

パロックコート池袋

電話番号：03-6384-4666

総座席数：60 席

営業時間：月-金曜日 17:00～23:30

土日祝日 15:00～23:30



2. 当期のリニューアル店状況について

①旬鮮酒場天狗 池袋東口店 (20.3.17リニューアルOPEN)

住所：〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-3-6 山手ビルB1F

電話番号：03-3984-4551

総座席数：168 席

営業時間：月-土曜日 11:30～23:30

日祝日 11:30～23:00

②テング酒場 名古屋松岡ビル店 (20.3.19リニューアルOPEN)

住所：〒450-0002

愛知県名古屋市中村区名駅2-45-7松岡ビルB1F

電話番号：052-561-1878

総座席数：159 席

営業時間：月-金曜日 11:30～14:00

16:00～23:30

土曜日 16:00～23:00

日祝日 15:00～22:00

経営成績に関する状況①－概況（連結）

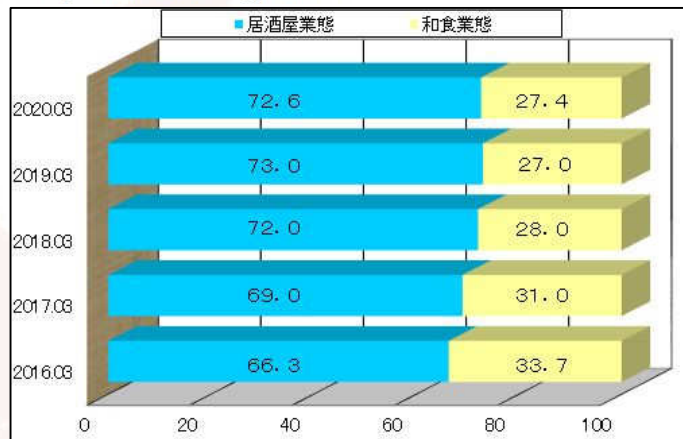
連結実績（百万円）	前期（2019.3期）	構成比%	当期（2020.3期）	構成比%	増減率%
売上高	15,271	100.0	14,567	100.0	△4.6
売上原価	4,101	26.9	4,011	27.5	△2.2
売上総利益	11,170	73.1	10,555	72.5	△5.5
販管費	10,943	71.7	10,863	74.6	△0.7
営業利益	226	1.5	△307	△2.0	△235.7
営業外収益	46	0.3	48	0.3	+4.5
営業外費用	31	0.2	26	0.2	△15.7
経常利益	242	1.6	△285	△2.0	△217.7
特別利益	125	0.8	4	0.0	△96.8
特別損失	306	2.0	515	3.5	△268.0
税金等調整前当期純利益	60	0.4	△796	△5.5	△1411.8
当期純利益	20	0.1	△845	△5.8	△4201.9
1株当り当期純利益	0円79銭		△32円34銭		
自己資本当期利益率	0.4%		△19.5%		
総資産経常利益率	2.6%		△3.4%		

経営成績に関する状況②ー売上高（店舗売上ベース（連結））

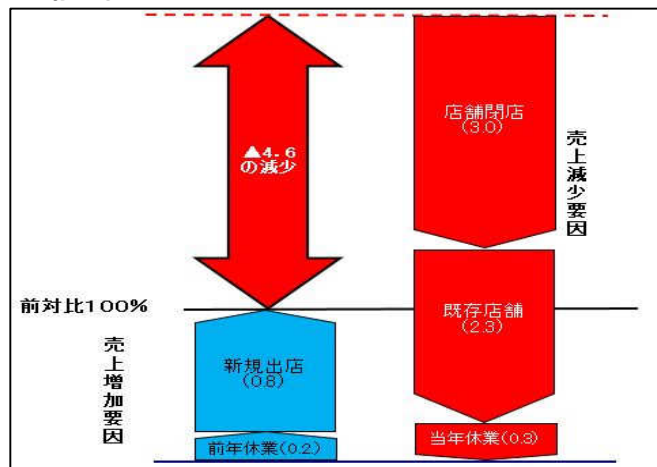
I. 売上実績推移



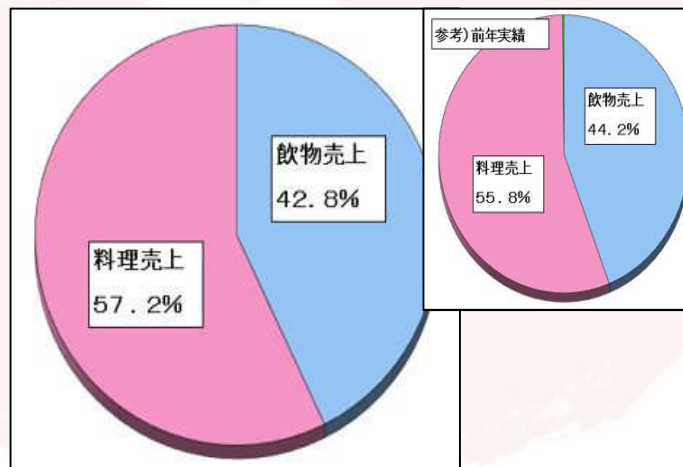
III. 業態別売上構成比



II. 前年売上対比



IV. 品種別売上構成比



●売上高について

新規出店に伴う売上が店舗閉鎖による売上の減少を補えなかったこと、加えて、2月中旬以降の新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う自粛による客数の激減により、売上高は大きく減少しております。
(資料Ⅰ・Ⅱ)

●業態別売上構成比について

和食業態の伸びが1月まで堅調だったこと、2月中旬以降の居酒屋業態のディナーの客数が大幅に減少したこと、加えて、閉店店舗が居酒屋業態に集中したことにより和食業態の売上構成比が増加しております。
(資料Ⅲ)

●品種別売上構成比について

和食業態の売上構成比の増加により料理の売上構成比が増加しております。
(資料Ⅲ) (資料Ⅳ)

経営成績に関する状況③ー連結既存店売上の推移



既存店の条件：同月のフル稼働店舗のみを対象（リニューアル期間は除く）
居酒屋業態で実施しているランチ売上も含む。

客単価（上記条件で抽出）

居酒屋業態	前期平均	当期平均	増減率
旬鮮酒場天狗	1, 841円	1, 850円	+0, 5%
テング酒場	1, 587円	1, 615円	+1, 8%
和食業態	前期平均	当期平均	増減率
和食れすとらん天狗	1, 494円	1, 493円	△0, 0%

●売上・客数について

新型コロナウイルスの感染拡大前までは、和食業態の売上・客数は前年を上回っております。一方、居酒屋業態の売上は微増しておりますが、客数は前年を下回っております。

●客単価について

和食業態の客単価は前年とほぼ同額ですが、居酒屋業態の客単価は売価設定の見直しや商品政策等により前年を上回っております。

経営成績に関する状況④ー原価、経費等（連結）

売上原価	前期構成比率：26.9%	当期構成比率：27.5%	構成比率増減：+0.6pt
------	--------------	--------------	---------------

料理比率の高い和食業態の伸びが1月まで堅調でしたが、飲物比率の高い居酒屋業態の売上が減少したことにより売上原価が増加しております。また、2月中旬以降の新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う自粛によるディナーの売上減少に伴い飲物比率が減少したことも構成比率増加の要因となっております。

人件費	前期構成比率：39.5%	当期構成比率：41.0%	構成比率増減：+1.5pt
-----	--------------	--------------	---------------

人手不足により求人費・時間外手当が増加しましたが、店舗閉鎖や2月中旬以降の大幅な売上の減少により雑給が減少し、63百万円の減少となりました。一方、2月中旬以降の売上の減少が人件費の減少を上回ったことにより人件費率は上昇しました。

他 販管費	前期構成比率：32.2%	当期構成比率：33.6%	構成比率増減：+1.4pt
-------	--------------	--------------	---------------

閉店数の増加や清掃管理の内製化に伴う関連費用の減少により17百万円減少しております。
一方、店舗の分煙化による工事費用等の増加、加えて賃料等の固定費に対する2月中旬以降の大幅な売上の減少により構成比は増加しております。

営業外収益・費用	(収益)： 当期実績	48百万円(前期比	2百万円 増加)
	(費用)： 当期実績	26百万円(前期比	5百万円 減少)

特別利益・損失	(利益)： 当期実績	4百万円(前期比1億21百万円 減少)
	(損失)： 当期実績	5億15百万円(前期比1億71百万円 増加) ※減損損失の増加

財政状態に関する状況

※前期末との対比

連結実績（百万円）	前期末（2019.3期）	構成比%	当期末（2020.3期）	構成比%	増減額
流動資産	2,358	25.9	2,121	25.5	△237
有形固定資産	2,512	27.6	2,259	27.1	△253
無形固定資産	159	1.8	84	1.0	△75
投資その他	4,075	44.8	3,869	46.4	△206
固定資産	6,746	74.1	6,213	74.6	△533
資産 合計	9,105	100.0	8,334	100.0	△770
流動負債	1,682	18.5	2,432	29.2	+749
固定負債	2,175	23.9	1,495	17.9	△680
負債 合計	3,858	42.4	3,927	47.1	+69
純資産 合計	5,247	57.6	4,407	52.9	△839
負債・純資産 合計	9,105	100.0	8,334	100.0	△770
1株当り純資産	200円61銭		168円51銭		
自己資本比率	57.6%		52.9%		

【資産の主な増減】

- 現預金の減少
- 店舗閉鎖及び減損処理に伴う固定資産の減少
- 新規設備投資に伴う固定資産の増加
(新店・リニューアル・システム投資)

【負債・純資産の主な増減】

- 短期借入金の増加
- 長期借入金の返済による減少
- リース債務の減少

キャッシュ・フローに関する状況

連結実績	前期 (2019. 3期)	当期 (2020. 3期)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	6 2 2 百万円	1 6 1 百万円	△ 4 6 1 百万円
(主な増減)			
税金等調整前当期純損失	6 0	△ 7 9 6	△ 8 5 6
減価償却費	4 6 8	4 6 8	△ 0
減損損失	2 6 7	4 4 7	+ 1 8 0
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△ 1 6 1	1 1 8	△ 2 7 9
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 7	△ 1 5 1	△ 1 4 4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4 9 7 百万円	△ 3 8 5 百万円	△ 1 1 2 百万円
(主な増減)			
有形固定資産の取得による支出	△ 3 9 6	△ 3 3 9	+ 5 7
敷金・保証金の回収による収入	8 4	6 3	△ 2 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4 2 7 百万円	1 5 1 百万円	+ 5 7 8 百万円
(主な増減)			
短期借入れによる収入	—	5 0 0	+ 5 0 0
長期借入金の返済による支出	△ 3 3 0	△ 2 0 5	+ 1 2 5
現金 (同等物) の増減額	△ 3 0 2 百万円	△ 7 2 百万円	+ 2 3 0 百万円
現金 (同等物) の期首残高	1, 7 2 4 百万円	1, 4 2 1 百万円	△ 3 0 3 百万円
現金 (同等物) の期末残高	1, 4 2 1 百万円	1, 3 4 9 百万円	△ 7 2 百万円

2021年3月期（通期）の見通し

連結（百万円）	2020.3月期 （実績）	2021.3月期 （見込）	増減
売上高	14,567	100.0	
売上総利益	10,555	72.5	
営業利益	△307	△2.1	
経常利益	△285	△2.0	
当期純利益	△845	△5.8	
1株当り当期純利益	△32.34円		

未定

【設備投資（予定）】

■設備投資予定額：未定

新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明なため、現時点では見通しが立てられない状況であります。

売上について

新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明なため、業績に与える不確定要素が多く、現時点では業績予想を合理的に算定することは困難な状況であります。

こうした状況の中、現状の外食ニーズを捉え、【弁当等のテイクアウト販売】の拡充や【宅配サービス】に加え、セントラルキッチンのオリジナル製造品の【外部販売の実施】により、本格的に小売業への進出の第一歩に踏み切っております。

※外部販売チャネル

- ・楽天による通信販売
- ・セントラルキッチン敷地内
「天狗こだわりマーケット」による直接販売
- ・ホームページからの直接販売

経費について

売上と同様に不確定要素が多く、合理的に算出することが困難な状況であります。